

総務文教常任委員会

平成28年度一般会計補正予算 総務費 1億14万円

(田沢湖マラソン開催用地購入に7,957万円)

■平成28年度予算 主な内容

次世代定住支援事業費補助金	310万円	若者の住宅建築に対する助成制度。
企業版ふるさと納税寄付金	100万円	桜の保全、外国語案内看板設置等を実施する。
諸工事費	419万円	角館小学校体育館天井の補修。
社会教育総務費	2万円	市職員の社会教育主事の講習費。
土地取得費	7,957万円	田沢湖マラソン開催用地購入費。

ここが知りたい
議論のポイント
平成28年度予算 主な質疑

- 質問** 次世代定住支援事業に対して、子供がいなくて対象にならないと伝えた件数は？
- 答弁** 総合戦略室の電話だけでも、複数回対象にならない旨を説明している。
- 質問** 利用出来ない世帯も多く、不備が生じている。制度を早期に改善すべきでないか？
- 答弁** 定住支援制度の検証が出来ていない段階であり、半年くらいの実績を見た上で検討したい。また、住宅リフォーム事業のように、制度の周知を一層図っていく予定である。
- 質問** 企業版ふるさと納税をどう捉え、どう拡大していくのか。具体的なPR方法は決まっているのか？
- 答弁** 市の総合戦略に載せている事業であり、魅力ある事業計画でないと国から認定されない。具体的なPR方法はまだないが、事業計画の認定と企業へのPRを同時に行わないと進んでいかないと考えている。
- 質問** 市職員の社会教育・資格取得の必要性は理解できるが、本来は当初で計画を立てて行うべきでないか？
- 答弁** 当初予算に出せず申し訳なかった。今後は計画的な体制づくりをやっていく。
- 質問** 市の公有財産が有効に活用されていない例も見られる。取得後は、湖畔の繁栄に結びつけて欲しい。
- 答弁** 有効な利用方法、整備をしっかりと検討していく。

条例案等の審査

仙北市育英奨学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について (若者の定住促進を狙いとして、返済免除制度を創設するための条例改正)

質問 職種で免除の制限をしないということだが、公金で運用されることを考えると、公務員並びに準公務員に準ずる方を免除対象とすることは、一般市民の理解を得られないのではないか？

答弁 免除の対象者を職種で制限しないことが他に先がけて仙北市の特徴になると思う。法の下での平等という考え方から、提案している。



■奨学金活用後は、ぜひ地元へ

請願

メガソーラー「大規模太陽光発電」事業

- ・請願の趣旨である地域住民の不安を解消することなく、関連予算が計上されたことは残念でならない。
- ・現実的には、資金が融資されて、事業が完成している。現段階での採択は無理だと思う。

仙北市学校適正配置研究検討委員会では 年内に提言を示す予定

この委員会は、仙北市における小・中学校の適正配置の在り方を研究・検討し、児童生徒にとって望ましい学習環境となる学校配置について提言を行うことを目的に設置された。今後は、アンケート等を実施し、提言書をまとめる。



■委員長 青柳徹、副委員長 浦山清悦

市民福祉常任委員会

平成28年度 仙北市一般会計補正予算

■平成28年度予算 主な内容

地域密着型サービス施設等整備事業費補助金

9,600万円

認知症対応型グループホーム2施設、小規模多機能型施設1施設の整備事業に対する補助金(3,200万円×3施設)。

介護施設開設準備経費等支援事業費補助金

1,676万7千円

上記3施設の備品購入費、人件費等。

誕生祝金支給事業費

384万円

子育て支援事業の一環として、お子さんが誕生した場合、1人3万円の祝金を支給。145人を見込む。

放課後児童対策事業費

573万円

中川児童館閉館に伴い、中川小学校に放課後児童クラブを開設する経費及び各放課後児童クラブ利用者増に伴う支援員増員による人件費の増額。

■主な質疑

質問 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金について、3施設で上限3,200万円となっている。それぞれの施設規模や建設費用は違うと思うがいくら位になるのか。

答弁 施設、規模、造りにより異なるものであり、すべての施設で上限を超えるものと見込んでいる。概算ではあるが、それぞれ4,000万円から5,000万円の整備費を見込んでいる。

質問 誕生祝金支給事業について、口座振り込みは確実に間違いのない事は確かだが、祝い金を直接受け取る方が重みが増すので検討するべきではないか。

答弁 ご家族に直接手渡す方が、一番心温まる方法と考えるが、確実に相手方に渡した、渡していないという事もあるので、現在のところは口座振り込みとしている。



■地域密着型サービス施設建設予定地

平成28年度 仙北市国民健康保険特別会計補正予算

今回の補正予算は、神代診療所の常勤医師が辞められた事に伴い、その部分を派遣医師の経費に充てるため常勤医師に係る経費を減額し、歳出を組み替える予算です。

質問 現在、秋田大学病院から派遣していただいている医師は、水曜日と木曜日が1日で金曜日は午前中のみである。金曜日も1日いていただく事は出来ないか。

答弁 派遣医師については、当初から1日をお願いしているが、秋田大学病院でも教授会や会議などがある中、時間を割いて来ていただいている状況で、調整した上で金曜日は半日となっている。今後も1日勤務していただけるよう引き続き要望していく。

仙北市基金条例の一部を 改正する条例制定について

仙北市景観条例が平成28年1月1日より施行され、景観保全条例・歴史的保存条例は廃止されたので条例改正となった。

変わったところ

仙北市歴史的景観形成基金

仙北市景観形成基金

歴史的景観をまもり

良好な景観をまもり

基金額 300万円

使用額 10万円

残額 290万円ほど
(角館町横町の黒板塀分)

審査の視点

① 史跡や寺社も該当するのか。

説明 文化財保護法により指定されているものは入らない。認定を受けた景観住民団体からの

申請に基づき、景観審議会が審議し承認していただいたものが補助の対象となる。

② 景観審議会の委員構成と開催状況は。

説明 委員は12人以内。弘前大学北原教授、建築士、各地域2〜3人ずつお願している。一回目は、6月28日を予定している。(15日現在)

③ 景観計画に基づく具体的取り組みは。

説明 伝建群の裏側周辺と田町周辺を重点地域に指定したいと考えている。あくまでも地元の同意がなければ進まない。協議が重要である。野外広告物や建物における街並みの統一に向けた取り組みは審議会で協議していくことになる。

結果

可決

■補正予算関連

4月17日の強風被害による

湯前山森林公園の看板補修費149万2000円

盤面は修理必要なし。枠の復旧である。

伝承館研修室等大屋根修理に関わる費用

29万5000円



■強風により破壊された湯前山森林公園の看板

外国人観光客が増えていることへの対応

国際観光宣伝・誘客事業費35万4000円

英語版ガイドマップをこれまで数万部つくったが、タイのトップセールス、JTB集中プロモーション、HIS旅行会社の対応に5,000部は不足する見込み。

臨時作業員の賃金

道路維持補修費148万2000円

角館地域センターに道路維持のための作業員を配置したい。



■英語版ガイドマップ

庁舎建設特別委員会

請願第2号「庁舎建設候補地に対するアンケート調査の実施に関する請願書」について

不採択

採決の経過と理由

統合庁舎の整備構想は、平成27年2月に行われた、まちづくり市民アンケートの結果に基づき、当局から建設候補地を「角館病院跡地」とする構想が提示されました。特別委員会では、その考え方を更に精査して、「角館駅前」という結論に至り、本会議にも中間報告し、その旨の説明報告会も実施している。

本請願の趣旨は、①「候補地として角館駅前が適地とは思えないので全世帯アンケートにより判断すること」②「庁舎

の位置を変更する条例を関連予算よりも先に決めるべき」との2点である。

委員からの意見

○「位置変更の議決を先に」という要望は、用地買収が伴うので、地番・面積を確定しなければ位置変更の決定ができません、手続き上どうしても用地費等の予算決定が先になること。

○「角館駅前が適地とは思えないので、全世帯アンケートを」という要望については、アンケートの設問の検討には相当な時間を要し、住民投票的なアンケートは手続き上、時間的な制約があること。

○今後のタイムスケジュールからして、他の民有地を買収しなければならない候補地とすることは無理があること。

○仮にアンケートを実施して、その結果「他の候補地」となった場合に、「角館駅前が適地」と思っている住民から再度アンケートを要請されることも考えられ、市政が進まないことになること。

採決の結果、請願第2号は、不採択とすべきものと決定しました。



■統合庁舎建設候補地

紹介議員の出席要請について

仙北市議会会議規則 第143条 「委員会は、審査の為必要があると認める時は、紹介議員の説明を求める事ができる」とあります。

- ・紹介議員は、委員会が当該請願を審査するに際し、その趣旨等について疑義がある時は、委員会の求めに応じて委員会に出席し、説明しなければならないとなっています。
- ・今請願の趣旨は明白である為、特別委員会では紹介議員の出席要請はしませんでした。